

## 第5章 検証訓練終了後のアンケート・ ヒアリング調査結果



## 第5章 検証訓練終了後のアンケート・ヒアリング調査結果

### 第1節 受講者へのアンケート調査結果

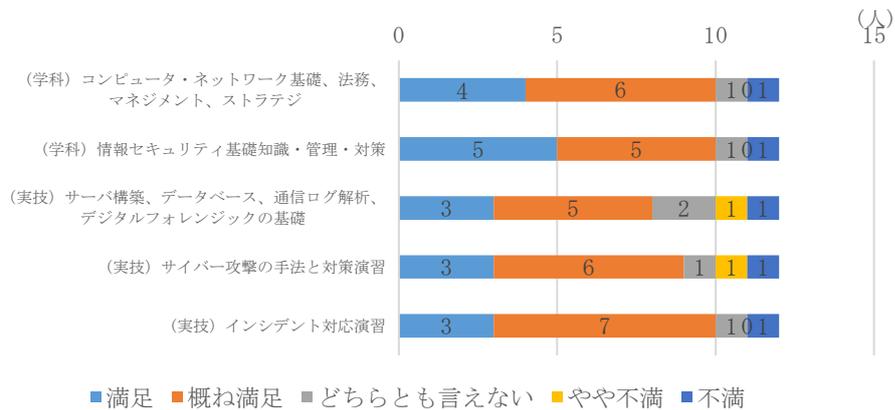
検証訓練終了後に各訓練コースの修了者に対し受講後の満足度や習得度、良かった点や改善すべき点等を聞くため、アンケート調査を実施した。調査方法は検証訓練開始時と同じ方法で実施した(第3章第4節参照)。全対象修了者67人のうち回答者は56人(82.4%)であった。

#### 1-1 訓練受講後の満足度及び習得度

##### (1) サイバーセキュリティマネジメント科

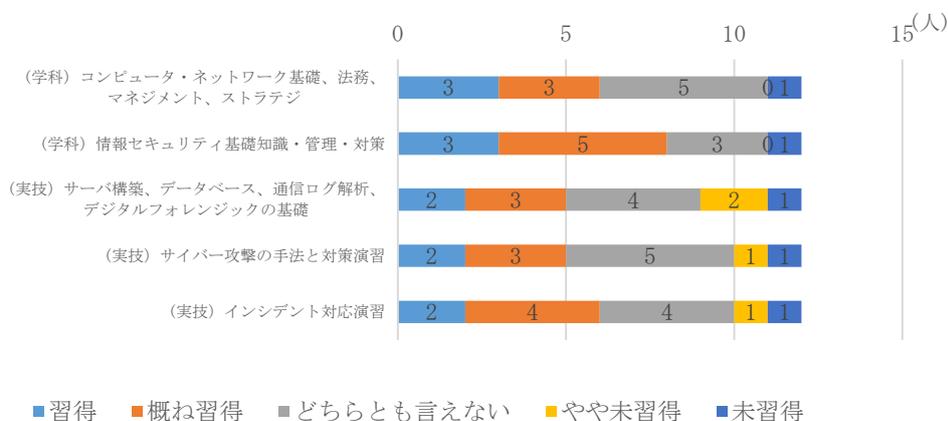
図表5-1に満足度を示す。「満足」と「概ね満足」では学科の合計で83.3%、実技の合計で75.0%であった。

図表5-1 「セキュリティ科」の満足度(12人)



図表 5 - 2 に習得度を示す。「習得」と「概ね習得」では学科の合計で 58.3%、実技の合計で 44.4%であった。

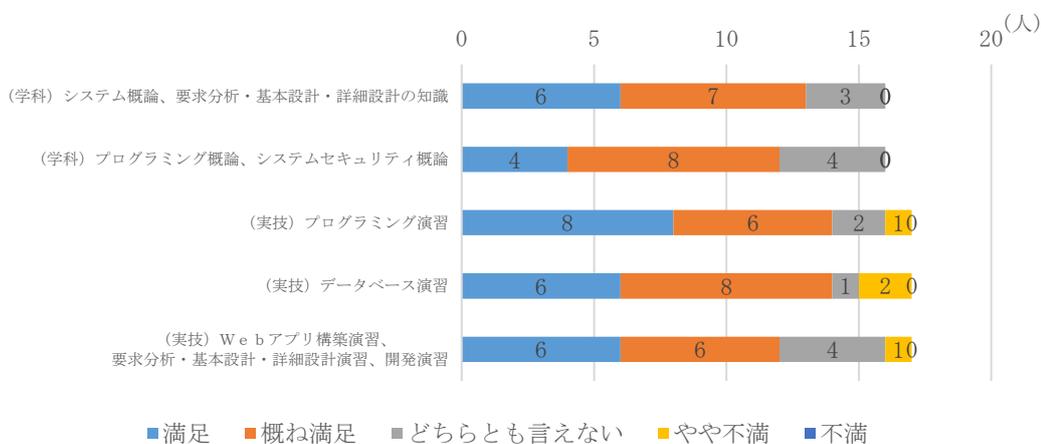
図表 5 - 2 「セキュリティ科」の習得度(12人)



## (2) Web アプリプログラマー (Java 言語) 養成科

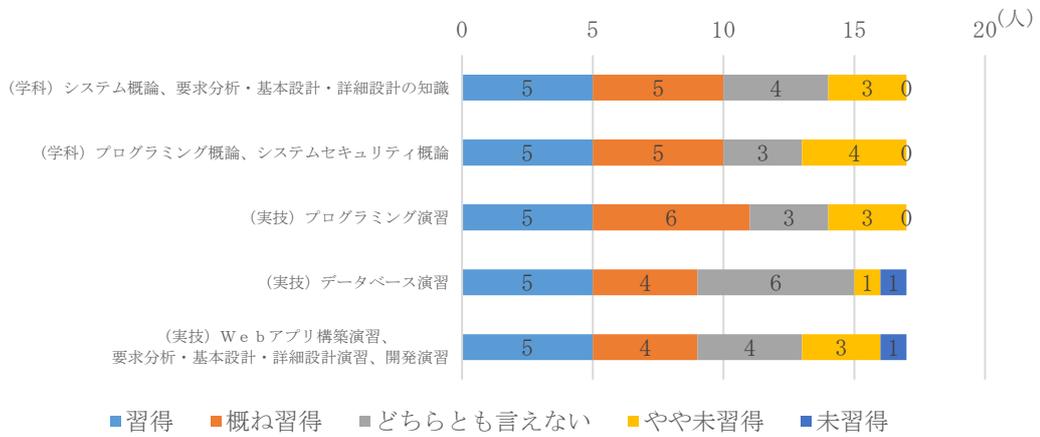
図表 5 - 3 に満足度を示す。「満足」と「概ね満足」では学科の合計で 78.2%、実技の合計で 78.4%であった。

図表 5 - 3 「Web アプリ科」満足度(17人)



図表5-4に習得度を示す。「習得」と「概ね習得」では学科の合計で58.8%、実技の合計で56.9%であった。

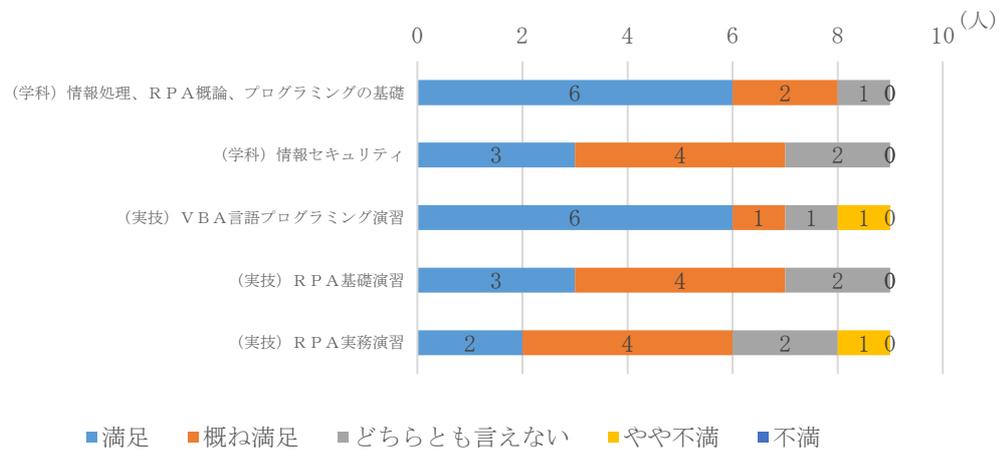
図表5-4 「Web アプリ科」の習得度(17人)



### (3) IT人材育成科

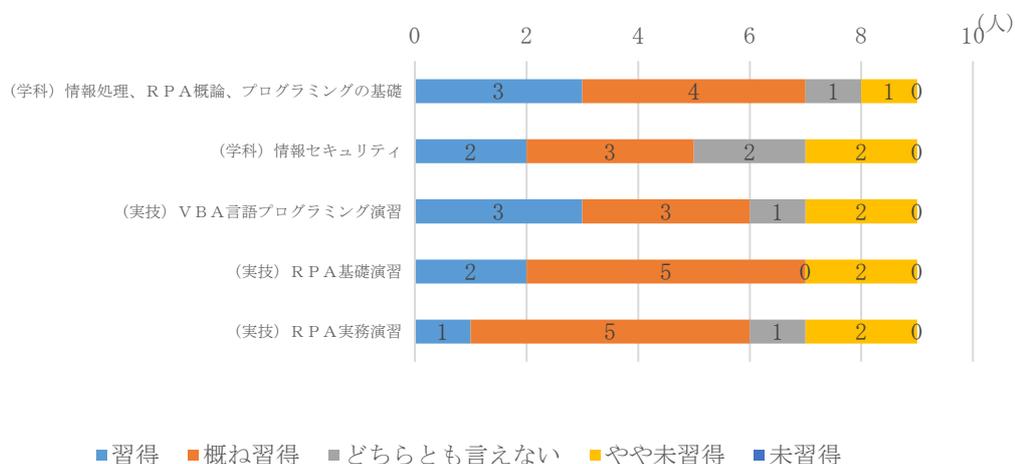
図表5-5に満足度を示す。「満足」と「概ね満足」では学科の合計で83.3%、実技の合計で74.1%であった。

図表5-5 「IT人材科」の満足度(9人)



図表5-6に習得度を示す。「習得」と「概ね習得」では学科の合計で66.7%、実技の合計で70.4%であった。

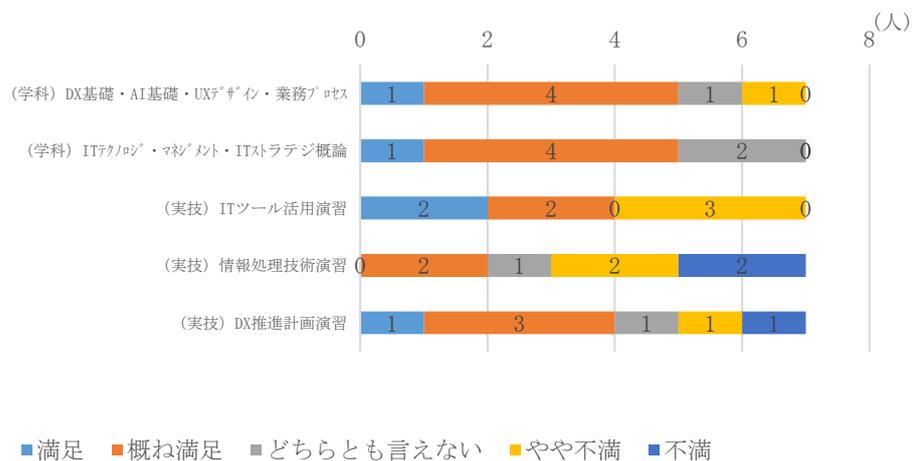
図表5-6 「IT人材科」の習得度(9人)



#### (4) IT導入リーダー養成科

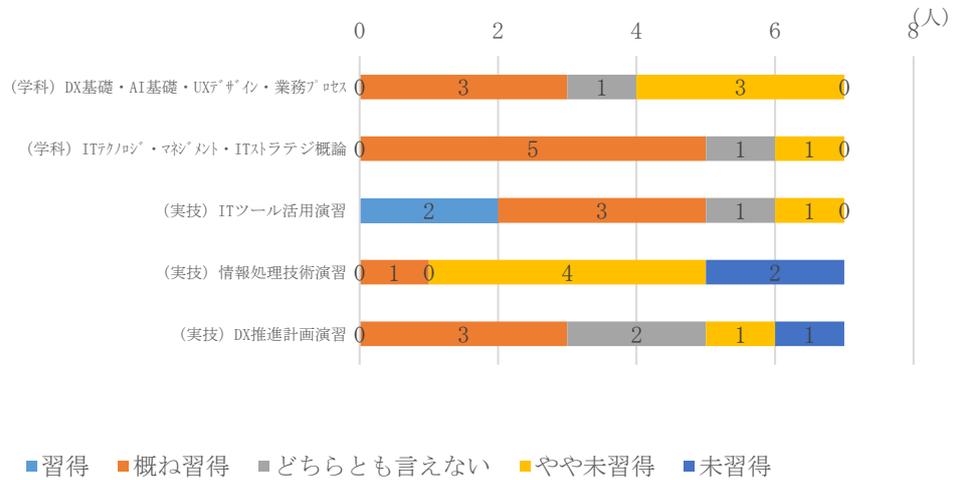
図表5-7に満足度を示す。「満足」と「概ね満足」では学科の合計で71.4%、実技の合計で47.6%であった。

図表5-7 「IT導入科」の満足度(7人)



図表5-8に習得度を示す。「習得」と「概ね習得」では学科の合計で57.1%、実技の合計で42.9%であった。

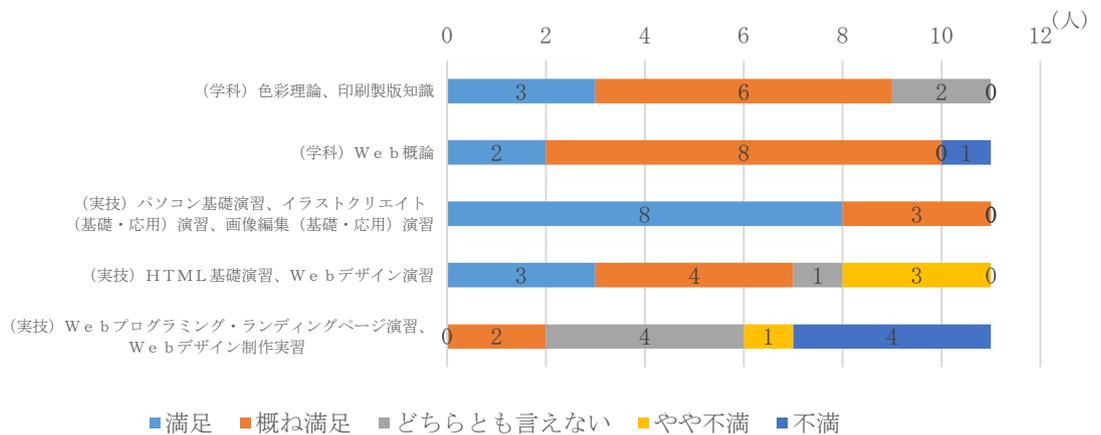
図表5-8 「IT導入科」の習得度(7人)



#### (5) Webデザイナー養成科

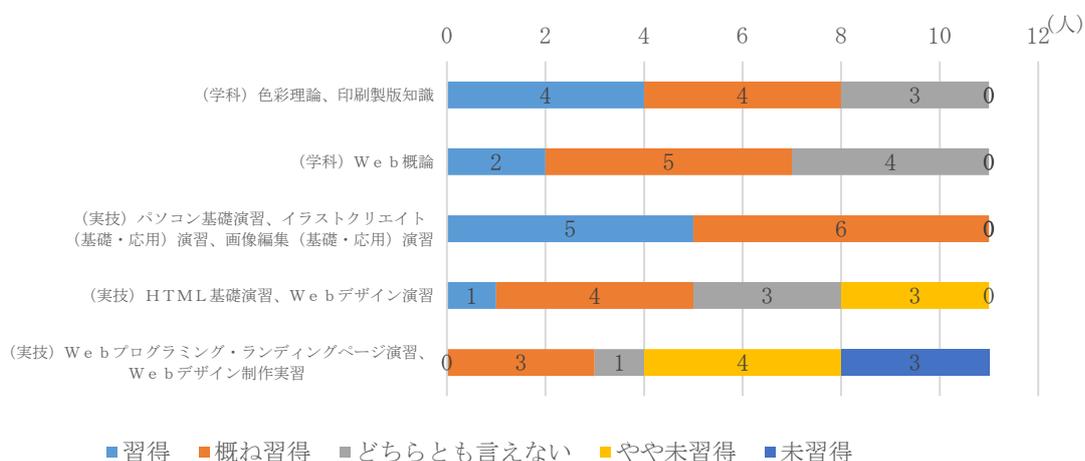
図表5-9に満足度を示す。「満足」と「概ね満足」では学科の合計で81.8%、実技の合計で60.6%であった。

図表5-9 「Webデザイナー科」の満足度(11人)



図表 5-10 に習得度を示す。「習得」と「概ね習得」では学科の合計で 68.2%、実技の合計で 57.6%であった。

図表 5-10 「Web デザイナー科」の習得度(11 人)

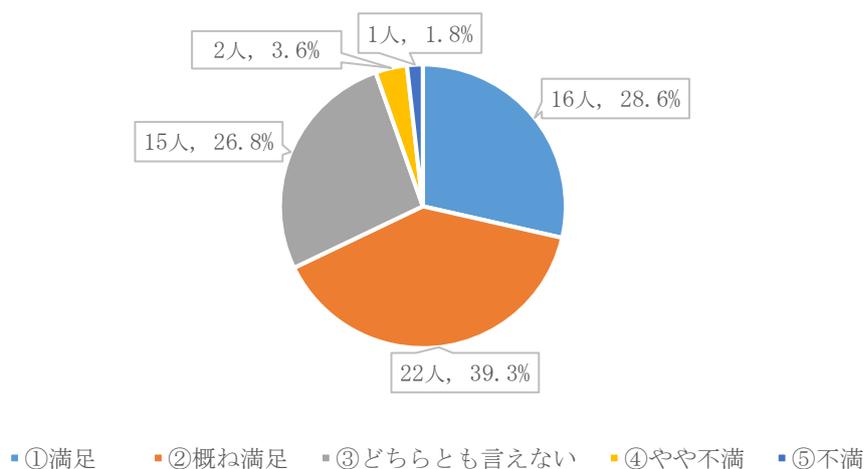


## 1-2 就職支援の満足度

図表 5-11 に 5 コース全体の就職支援の満足度を示す。なお、就職支援の満足度とは、キャリアプランの知識、自己理解、応募書類の作成、面接テクニック、求人情報等を受講した満足度を示す。

「満足」と「概ね満足」では 67.9%となっている。

図表 5-11 5 コース全体の就職支援満足度

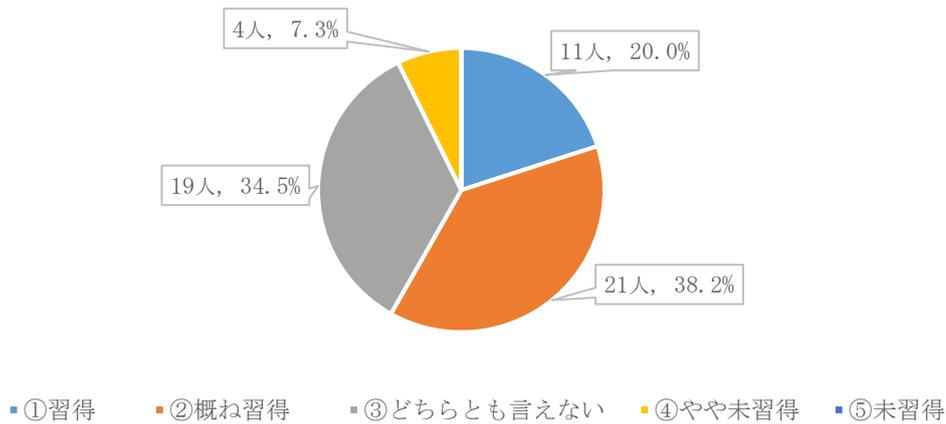


### 1-3 就職支援の習得度

図表5-12に5コース全体の就職支援の習得度を示す。なお、「就職支援の習得度」とは、キャリアプランの知識、自己理解、応募書類の作成、面接テクニック、求人情報等を受講の習得度を示す。

「習得」と「概ね習得」では58.2%になっている。

図表5-12 5コース全体の就職支援習得度

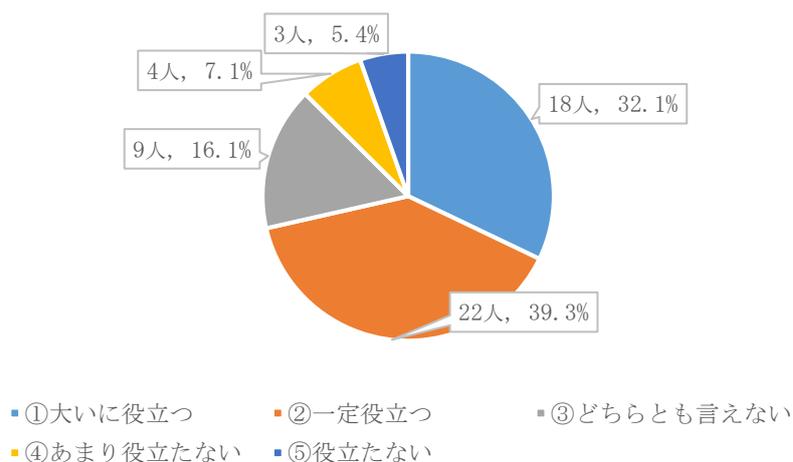


### 1-4 就職支援の役立ち度

図表5-13に5コース全体の就職支援の役立ち度を示す。なお、「就職支援の役立ち度」とは、就職活動時における面接や履歴書作成等の指導の役立ち度を示す。

「大いに役立つ」と「一定役立つ」では71.4%になっている。

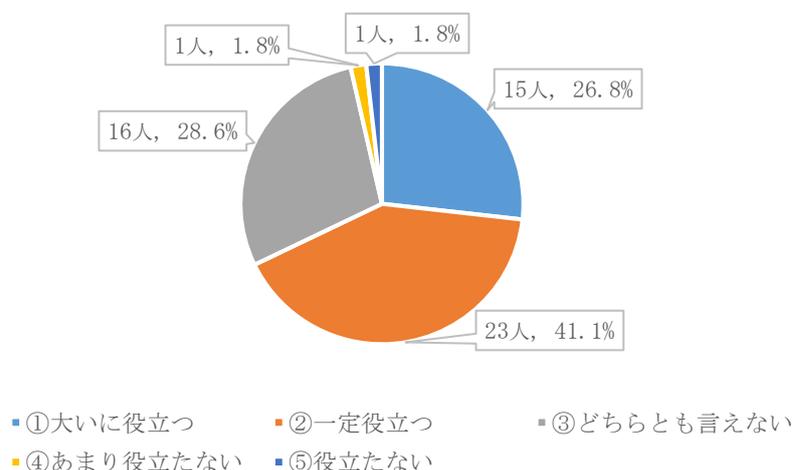
図表5-13 5コース全体の就職支援役立ち度



### 1-5 キャリアコンサルティングの役立ち度

図表5-14に5コース全体のキャリアコンサルティングの役立ち度を示す。「大いに役立つ」と「一定役立つ」では67.9%になっている。

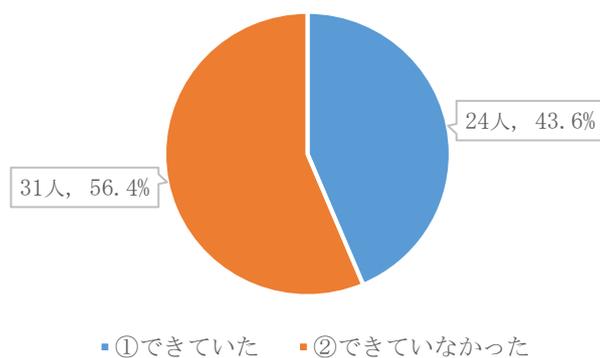
図表5-14 5コース全体のキャリアコンサルティング役立ち度



### 1-6 就職に関する受講者間の情報共有

図表5-15に5コース全体の就職に関する受講者間の情報共有について示す。受講者間での情報共有は43.6%ができたと回答しているが、訓練コースによっては90%近くできていたコースとできていなかったコースがあった。

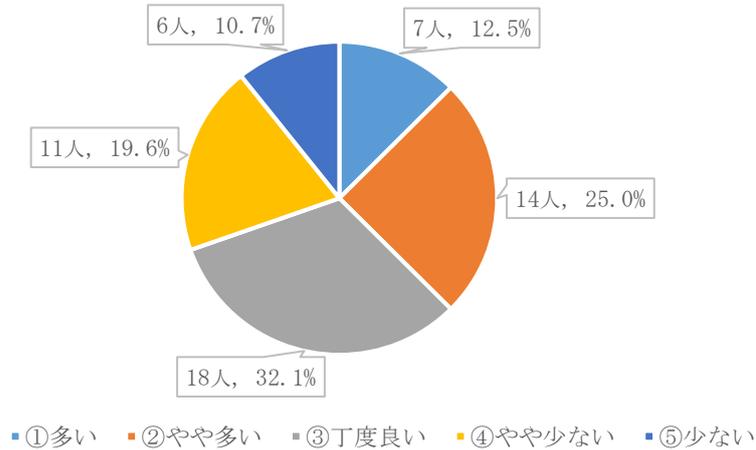
図表5-15 5コース全体の就職に関する受講者間の情報共有



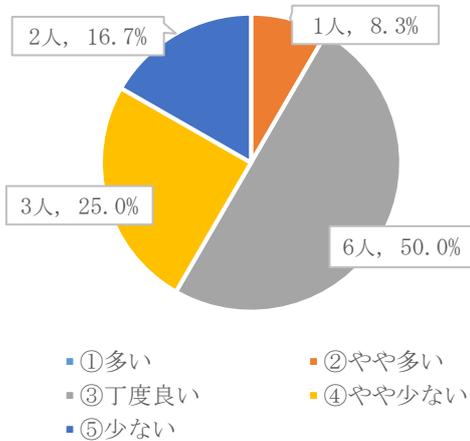
1-7 訓練内容のボリューム感

図表5-16に5コース全体の訓練内容のボリューム感を示す。訓練コースによっては、回答者の50%以上が訓練内容が多いと感じたコースもあった。参考に図表5-17から図表5-21に各コースの状況を示す。

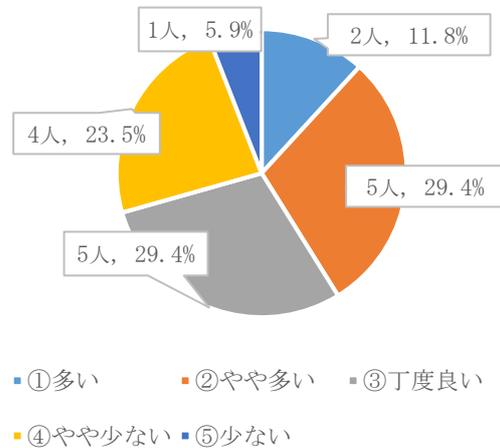
図表5-16 5コース全体の訓練のボリューム感



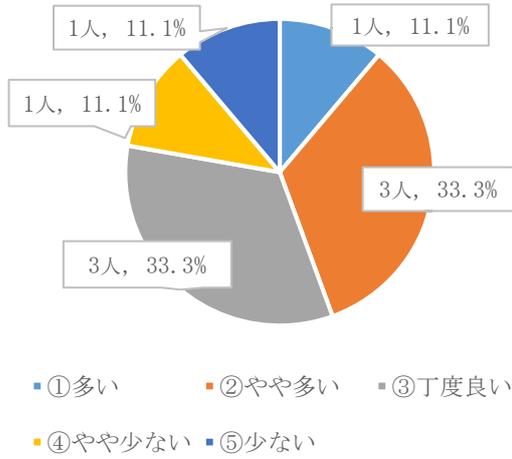
図表5-17 「サイバー科」(12人)



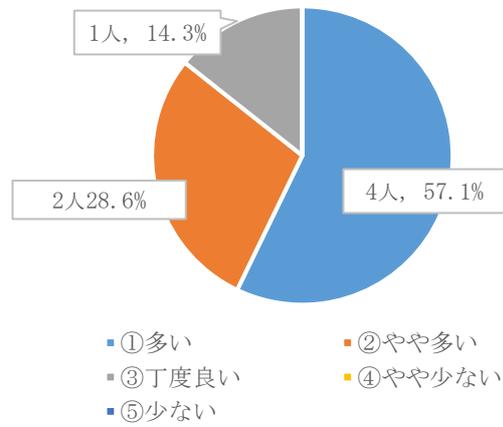
図表5-18 「Webアプリ科」(17人)



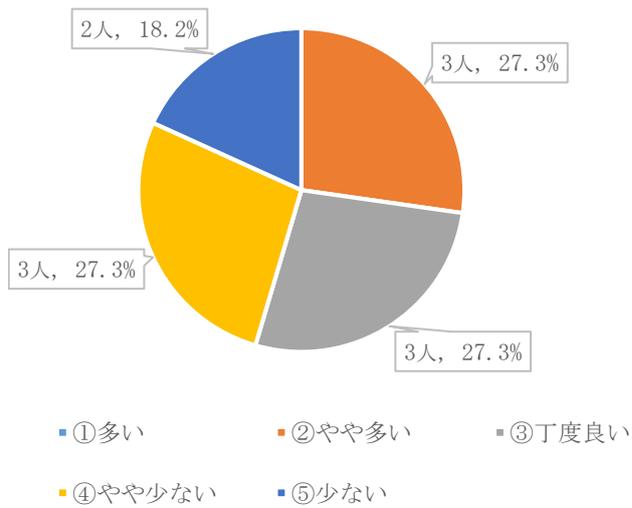
図表5-19 「IT人材科」(9人)



図表5-20 「IT導入科」(7人)



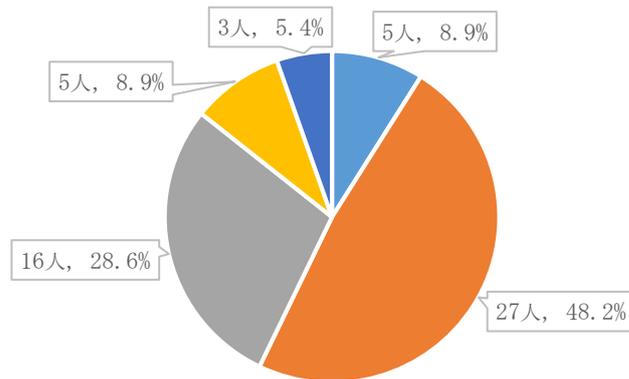
図表5-21 「Webデザイナー科」(11人)



### 1-8 教材

図表5-22に5コース全体の教材についてどのように感じたかを示す。「非常にわかりやすい」と「わかりやすい」の合計が57.1%であり、わかりやすいと感じた人が多かったようである。

図表5-22 5コース全体の教材

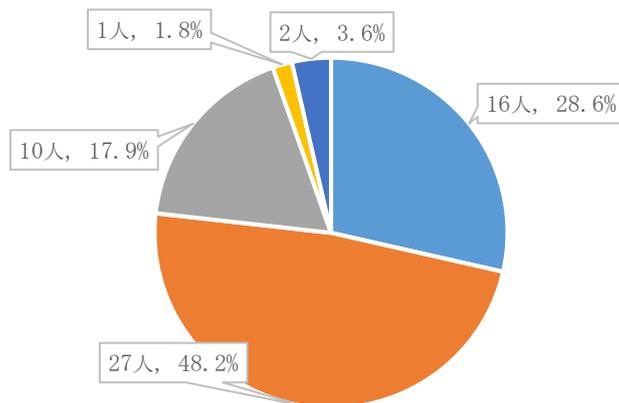


- ①非常にわかりやすい
- ②わかりやすい
- ③普通
- ④若干わかりにくい
- ⑤非常にわかりにくい

### 1-9 講師の教え方

図表5-23に5コース全体の講師の教え方について示す。「大変わかりやすかった」と「わかりやすかった」の合計が76.8%であり、講師の教え方はわかりやすかったようである。

図表5-23 5コース全体の講師の教え方

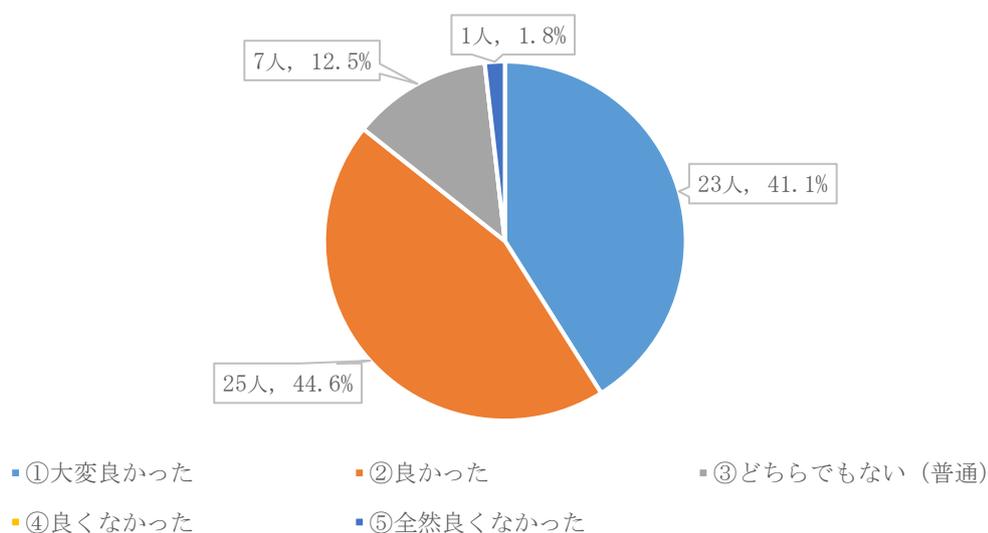


- ①大変わかりやすかった
- ②わかりやすかった
- ③どちらでもない（普通）
- ④わからなかった
- ⑤全然わからなかった

### 1-10 講師の声の大きさ・速さ

図表5-24に5コース全体の講師の声の大きさや話す速さを示す。「大変良かった」と「良かった」の合計が85.7%であり、講師の声の大きさや話す速さは良かったようである。

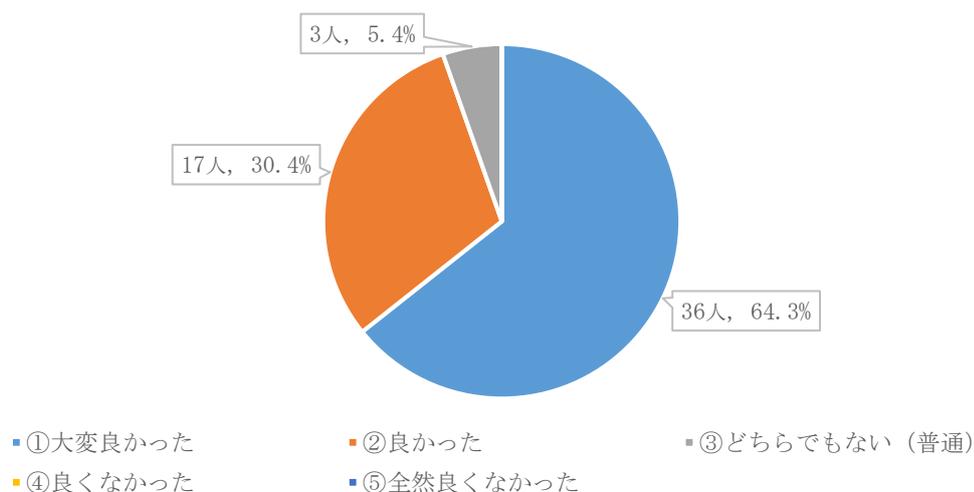
図表5-24 5コース全体の講師の声の大きさ・速さ



### 1-11 質問への対応

図表5-25に5コース全体の質問への対応について示す。「大変良かった」と「良かった」の合計が94.7%であり、質問への対応は大変良かったようである。

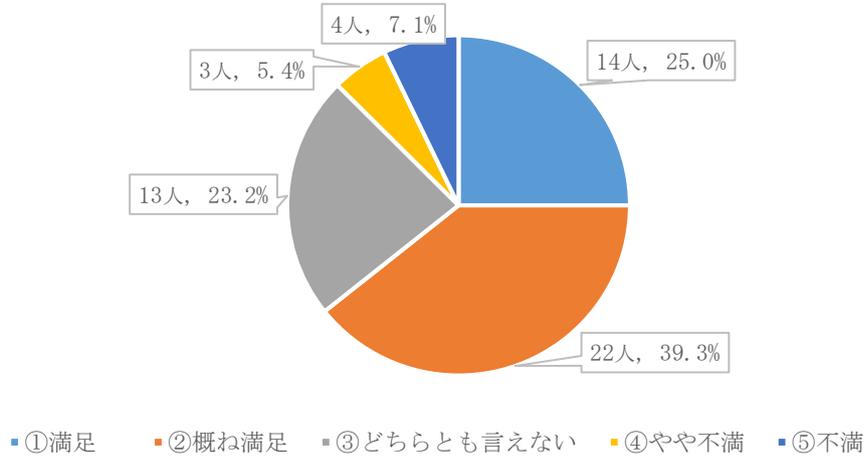
図表5-25 5コース全体の質問への対応



1-12 クラスのコミュニティ

図表5-26に5コース全体のクラスのコミュニティについて示す。「満足」と「概ね満足」の合計が64.3%であり、概ね満足だったようである。

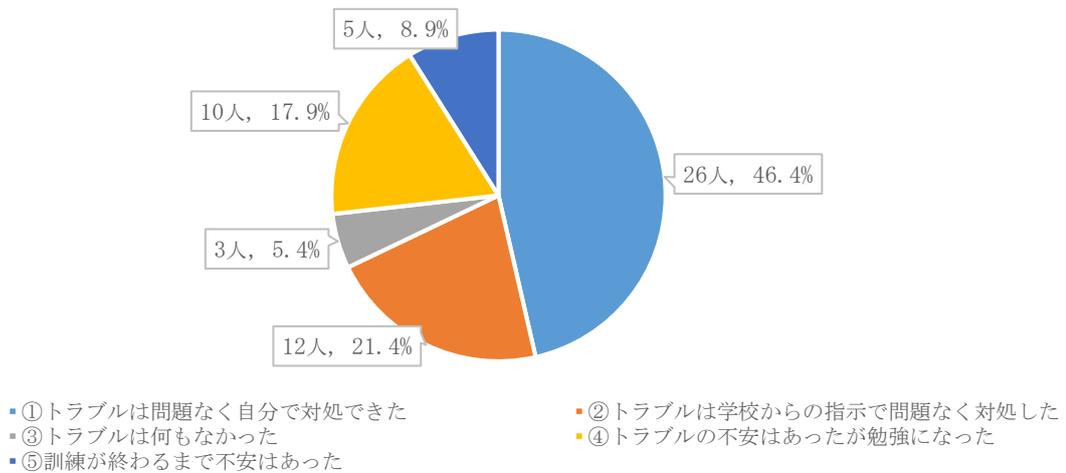
図表5-26 5コース全体のクラスのコミュニティ



1-13 通信障害等への不安

図表5-27に5コース全体の通信障害等について示す。「トラブルは問題なく自分で対処できた」46.4%、「トラブルは訓練実施機関からの指示で問題なく対処した」21.4%、「トラブルは何もなかった」5.4%、「トラブルの不安はあったが勉強になった」17.9%、「訓練が終わるまで不安はあった」8.9%となっており、受講者の67.9%は何らかのトラブルを経験し、自身や訓練実施機関からの指示で対処している。

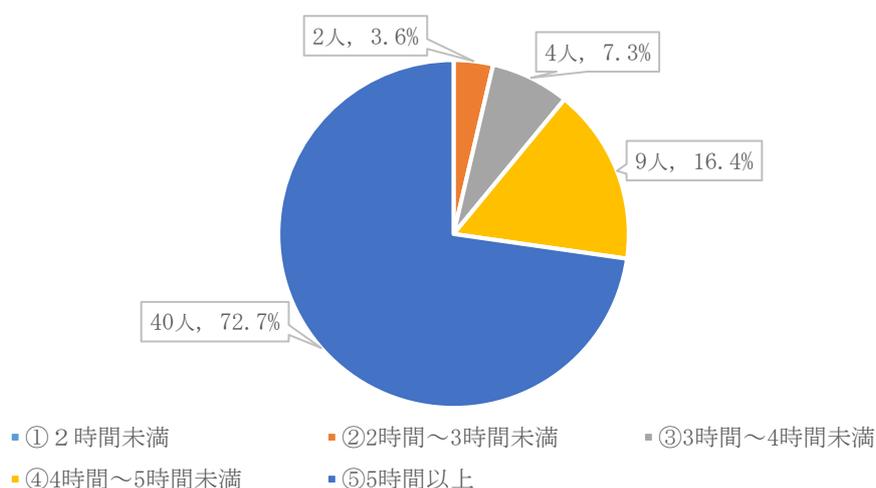
図表5-27 5コース全体の通信障害等



### 1-14 希望する1日の訓練時間

図表5-28に5コース全体の受講者が希望する1日の訓練時間を示す。「5時間以上」が72.7%と一番多く、次いで「4時間～5時間未満」が16.4%となっている。上記(7)訓練のボリューム感の図表5-16において、「丁度良い」、「やや少ない」、「少ない」と感じた受講者の合計は62.5%であるが、1日の訓練時間は多く希望している。第2章第2節インターネットを活用したアンケート調査結果の図表2-23で1日当たりの訓練時間の希望では、「3時間程度」が36.3%と一番多く、次いで「2時間以下」が28.0%となっており、5時間以上は図表2-23の「5時間程度」と「6時間以上」の合計で13.6%であった。これは、今回1日の訓練時間は6時間で実施しており、受講者も実際に受講してみて訓練内容等から希望したものと想定させる。

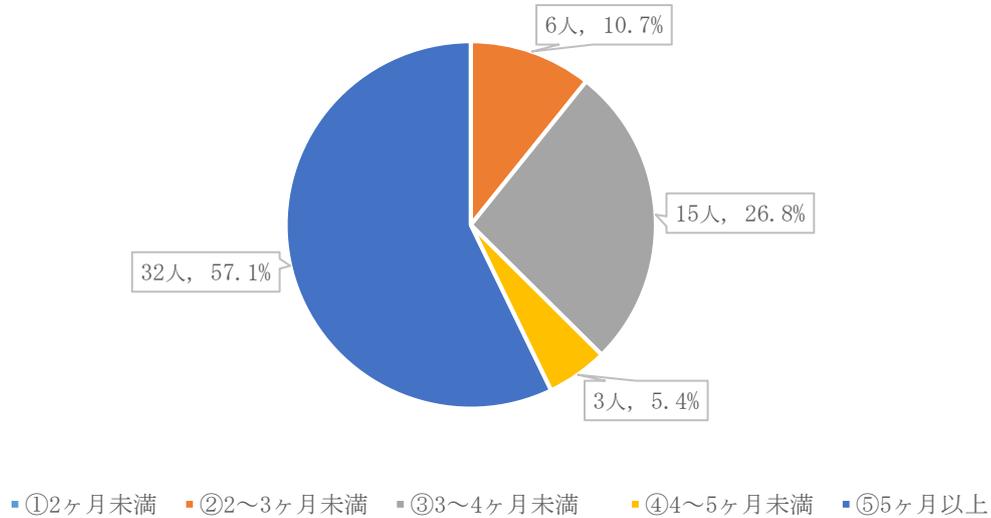
図表5-28 5コース全体の希望する1日の訓練時間



### 1-15 希望する訓練期間

図表5-29に5コース全体の受講者が希望する訓練期間について示す。「5ヶ月以上」が57.1%と一番多く、次いで「3～4ヶ月未満」が26.8%となっている。第2章第2節インターネットを活用したアンケート調査結果の図表2-25で訓練コースの訓練期間の希望では、「1ヶ月程度」が29.9%と一番多く、次いで「2ヶ月程度」が29.0%となっており、5ヶ月以上は図表2-25の「4～6ヶ月未満」と「6ヶ月以上」を合計しても11.3%である。今回は3ヶ月訓練で設定したが、こちらも訓練時間と同様に実際に受講してみて訓練内容等からもっと訓練を受講したいと希望したものと想定される。

図表5-29 5コース全体の希望する訓練期間



1-16 訓練全般を通じてフルオンライン訓練について(記述式)

□フルオンライン訓練で良かった点		
●	良 か っ た 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルオンライン訓練の環境</li> <li>・IT分野の訓練でオンラインという環境で参加できて良かった。</li> <li>・周りを気にせず訓練に集中できた事。</li> <li>・社会不安症のため、周囲に人がいる環境だと体調を崩してしまうが、オンラインでは緊張はするものの体調を崩すほどではなく、勉強に集中することができ、とてもありがたかった。</li> <li>・体調不良で在宅の仕事でしかなく、内職レベルでどうにかなるものでもないので求めた仕事であった。それに準じた環境で訓練を受講でき、少し前より成長した自分になれたと思う。</li> <li>・未経験でも基礎的な知識は身に付いた。</li> <li>・コロナ禍の中でも問題なく進行する安心感は良かった。</li> <li>・通所時間を有効活用できる点(2)。</li> </ul>

<p>● Web ア プ リ 科</p>	<p>良 か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎がまとめられたテキストのほぼ全てを学べたことは、独学では難しかったと思うので貴重な機会だった。また、グループワークを通して他の受講者と交流できたことは、軽い雑談も交えて支えや息抜きとなった。</li> <li>・全国からのオンライン参加のため、就職支援のグループディスカッションなどで様々な意見が聞けたのが印象的だった。時間割も9時から最後が16時までとなっていたので、主婦の方なども家庭の都合がつけやすいように定められていて良かった。</li> <li>・グループディスカッションは対面よりもオンラインの方がコミュニケーションしやすいと感じた。</li> <li>・通学の手間がかからず、その分自習に充てられることがメリットだった。(2)</li> <li>・通所でなくては受けることができない講座が受けられたので、”オンライン”という点が本当に良かった。</li> <li>・居住地に関係なく希望の内容の講義が受けられたこと(私の居住地にはIT系の講座がとても少なく、貴重なチャンスだった。)</li> <li>・グループワークがとてもよかった。</li> <li>・先生のPC画面の操作を見られ、操作方法がわかりよかった。(2)</li> <li>・質問すると解説を丁寧にしてもらい、周りの受講者も気兼ねなく質問できていて雰囲気よかった。(2)</li> <li>・作成中のプロジェクトごと講師の方に送って精査してもらえるため、エラー部分などがわかりやすかった。</li> <li>・受講後にすぐに復習ができること。</li> <li>・演習時間が沢山あり、学んだ内容を実践的に試すことができたので、Javaへの理解を高めることができた。また、書いたコードが上手いかわからない等、先生に質問してコードを修正してもらえたので、Javaの学習を挫折することがない。通学時間がないので、毎日受講しやすかった。</li> <li>・自室の環境で落ち着いて講義を受けられた。(3)</li> <li>・講師の方々の説明も丁寧で一人ひとりに時間を使ってくれて良かった。</li> </ul>
<p>● IT</p>	<p>良</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを見逃してもスクリーンショット等で見返すことができ、学習の効率が上がった。</li> </ul>

<p>人材科</p>	<p>か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートワークの練習ができた。</li> <li>・業務上でなんとなく VBA の概要はわかっていたが、本講義を受講することでしっかりした基礎ができ、今後業務等で使うときに応用ができると思う。会社に在籍しているときは VBA を勉強しようと考えて参考書は買ったが、たまに見るくらいでスキルは一向に向上しなかった。このような講義を受けることはきわめて有用であると思う。機会があればまた参加したい。</li> <li>・家庭の事情で少々抜けてもすぐに授業に戻れ、近くでの用事でも丸一日休まず、授業についていけない状態にならなかった。用事で抜ける時も移動中はスマートフォンで聞いて、授業進捗具合は大まかに確認できたので良かった。全国各地の今の状況(天候とか)雑談なども楽しかった。</li> <li>・休憩時間等を利用して家庭の用事をしながら訓練に参加できる。今後リモートワークを行う際の訓練にもなると思う。訓練生同士でのコミュニケーションはなかったが、作品の出来や質問のやり取りで人柄が分かると思う。</li> <li>・練習問題を自分で解く時間が設けてあり、できるようになると楽しかった。</li> <li>・個人的な引っ越しの兼ね合いもあり、場所に縛られず受講できるのが良かった。</li> <li>・通う必要がないのでその分勉強の時間を持つことができた。(3)</li> <li>・コロナ対策になる。余計な人付き合いもないので、勉強に集中できる。</li> </ul>
<p>● IT 導 入 科</p>	<p>良 か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom<sup>[4]</sup>や ChatWork<sup>[6]</sup>の使い方に慣れたこと。</li> <li>・時間を有効に活用することができた。県外の受講生と一緒に受講することができたので地元の話などができて楽しかった。</li> <li>・通学がないため、訓練によって相当疲労を感じても体に負担なく、復習や自習の余力があった。また、画面を注視することでむしろ集中力は高まったと思う。(その分疲労しますが)。</li> <li>・コロナを気にせず、参加できたこと。通学の時間がなく、復習の時間に使えた。</li> <li>・資料など様々な情報を得たこと。プログラマー経験者による指導がわかりやすかった。経験談など現実味があり理解が深められた。</li> <li>・リモートワークを取り入れている企業も多いので、実際にオンラインでインタラクティブな授業を受けられて、今後役に立てられるようなスキルが身に付いたと思う。</li> </ul>

<p>● Web デ ザ イ ナ ー 科</p>	<p>良 か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学する必要がなく、時間にゆとりを持って(落ち着いた環境で)訓練を受けられた。(3)</li> <li>・都会や交通の便が良い地域の方は就業や就学の選択肢が多い中、地方では現実的に就学等難しい状況のなか、学習の機会を与えられて大変うれしく思う。(3)</li> <li>・幅広く学べることができた。自宅なので少し体調が悪くても受講できた。</li> <li>・オンラインなので仲間ができないのではないかと考えていたが、コミュニケーションの時間や手段(交流の機会)があったので助かった。(2)</li> <li>・訓練内容のアーカイブにより復習がしやすかった。(2)</li> <li>・リモートで画面も見てくれるので、質問しても解決できることが多く不便さはなかった。(2)</li> </ul>
--	----------------------------------	---

<p>■フルオンライン訓練での改善点</p>		
<p>● セ キ ュ リ テ ィ 科</p>	<p>改 善 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的に学習するために先生の講義については一部ビデオでも良いと思った。また、休みのカウント方法が独自であるため、事前に説明した方が良いと思った。事前の説明があると家族内で調整(子供の延長保育申請や病院付き添い時間の変更等)が出来た。</li> <li>・OSの違いでたまに接続が上手くいかなかった。</li> <li>・郵送の教科書等が間に合わないため、合否発表から訓練開始までの期間をもう少し長くしてほしい。また、授業中に通信切れ等の理由で先生へ連絡しようとする、事務局を通して連絡しなければならないので少し不便に感じた。</li> <li>・録画ビデオでの復習があまりできなかった。障害を多数かかえているので無理は承知で、できればもう少し受講に専念したかった。</li> <li>・もっと実技の訓練がしたかった。</li> </ul>

<p>● Web ア プ リ 科</p>	<p>改 善 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインだと3か月でこの内容は厳しいと思う。(4)、グループワークで一番応用力が身についたので、もう少し時間を取ってほしかった。</li> <li>・訓練期間に対して訓練内容のボリュームが多く感じ、受講者間で習得度の差が開いていくように感じた。途中で習得度に応じてクラス分けしたり、1日1時間程度もしくは訓練後半の演習期間を(希望者のみで良いので)各自の復習時間に充てられたりすると嬉しかった。</li> <li>・後半になると、序盤から中盤で学んだことを忘れていることが多く、後半の開発時では、とても個々の差が出た様子で、就職に向けての自信はつくが、不安も生じたので、訓練期間が圧倒的に少ないと感じた。また、就職活動に向けての、企業案内などがあればと感じた。週末等に練習用などの自主練習のようなものなどがあれば、もう少し理解度が深まるのと、個々の技術の確認にもなるので良いのではないかな、と感じた。提出物は自筆のものが多く、オンライン訓練なのでもう少し入力可能な物にしてもらいたい。</li> <li>・理解のペースが人によって異なるため、時間が余り自習に充てることもあった。また、プログラミングを始めるにあたって諸々のインストールに丸二日かかったのは、人によってPCの環境が違うとはいえ時間がかかり過ぎると思う。事前にインストール方法を共有しておいた方が良いと考える。(2)</li> <li>・提出物の指示がやや分かりにくかった。</li> <li>・オンラインで個別での質問がなかなか難しく、他の人の進捗状況に合わせるためにリアクションをとる人も多かったので、能力差がつきやすい印象だった。Javaの基礎で練習問題を増やしたり、テスト的なものがあったらいいと思った。</li> <li>・期間が短いもあり、詰め込み気味だった。補講など受講者同士で相談しあう場が少なく感じた。</li> <li>・受講者同士の意見交換がしにくい環境にあったこと。</li> <li>・受講届提出方法等、オンライン職業訓練時の対応について訓練実施機関とハローワーク間の対応がもう少しスムーズであるとよい。</li> </ul>
--	----------------------	--

<p>● IT 人 材 科</p>	<p>改 善 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の受講者との情報共有がしにくかった。(2)コミュニケーションを求めない人は良いかもしれないが、コミュニケーションを求める人は対面の方が良いと思う。</li> <li>・音声が届けたり聞こえにくかった。</li> <li>・コードを書く時間がもっと欲しかった。</li> <li>・タイピングが早い人と遅い人ではクラスを分けた方がいいかも。</li> <li>・主に VBA について自分で書く時間があり、その後に画面確認しながらインデントや補完やデバッグの仕方等の基本部分の復習できて良かった。</li> <li>・受講者個々の学習能力の違いや、コミュニケーションが取りにくいので講師は大変だが、リモートワーク前提の訓練なのでリアクションの取り方を工夫しても良いと思う。VBA の前に Microsoft Excel<sup>[3]</sup>の基礎は必須。今回は集中して講義を行ったが、IT パスポート、VBA、RPA の授業を交互に行っても記憶の定着には良いと思う。</li> <li>・練習問題を自分で解く時間が設けてあり、できるようになると楽しかった。</li> <li>・質問できるのは授業中のみだと、授業を止めることになるので、放課後など少し作ってその時間を自習にして、質問できるようにするとありがたい。</li> </ul>
<p>● IT 導 入 科</p>	<p>改 善 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習期間・時間が少なかった。ペースが速かった。</li> <li>・Python<sup>[8]</sup>など、専門的な勉強にもっと時間をかけたかった。</li> <li>・やむを得ない理由で欠席したときの補講の方法をもっとしっかりと考えるべきだと思う。</li> </ul>

<p>● Web デ ザ イ ナ ー 科</p>	<p>改 善 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからないことがあったときに少し質問しづらかった。</li> <li>・直接他の受講者や先生方と会っているわけではないので、ちょっとした疑問や事務的な確認事項を、休憩時間や放課後に共有する時間が得られにくかった。</li> <li>・制作物に対してのコメントや改善点が欲しかった。面接やポートフォリオの提出方法や形(フォーマット)を教えてほしかった。</li> <li>・受講者同士で悩みや授業で分からなかったところを相談できる時間が、もう少しあればよかった。</li> <li>・事務連絡などがうまくできていなかった(欠席届の伝達、試験日の案内など)。</li> <li>・ボリュームが少ないため実務に不安がある。</li> </ul>
--	----------------------	---

1-17 フルオンライン訓練と対面式訓練を比較して(記述式)

<input type="checkbox"/> 対面式訓練と比較してフルオンライン訓練の良かった点		
<p>● セ キ ユ リ テ イ 科</p>	<p>良 か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りを気にせず訓練に集中できた事。</li> <li>・席の位置や周囲の気配などを気にせずに勉強できること。移動時間がないため他に時間を使えること。音量の調整ができるので自分に合った大ききさで聞けること。授業の録画を後から見返せること。離れた黒板ではなく目の前のディスプレイという環境は近眼でも字がちゃんと見えるため助かる。</li> <li>・自分の環境でどうとでもなる状況は普通ないので、障害持ちの自分としては非常に良い訓練でした。</li> <li>・通学という時間がない。</li> </ul>
<p>● Web ア プ リ 科</p>	<p>良 か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学の時間が短縮されるので、その分、予習復習の時間にあてられた。</li> <li>・オンラインと実際の対面とは違うので、オンラインならではの経験ができてよかった。</li> <li>・画面を共有で見られるので何をしているか理解をしやすい。</li> </ul>
<p>● IT 人 材 科</p>	<p>良 か っ た 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が有効に使える。訓練に集中できる。通所のために必要な経費がかからない。</li> </ul>

● IT 導 入 科	良 か っ た 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所時間が無いことと、コロナ感染の心配がなく、マスク無しで過ごせたこと。</li> <li>・通所時間がないので、その分勉強時間に充てられた。みなさんの顔が(マスクで隠れることもなく)見えるので、通所より親近感が湧いた。</li> </ul>
● Web デ ザ イ ナ ー 科	良 か っ た 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーカイブが残っているので、再度勉強できる場所。</li> <li>・画面共有は見やすい。音量も自分で調節できる。自己学習よりはメリハリもあって、県外の方の就職やごはんや天気情報が聞けたのがよかった。就職が決まった受講者の情報(インタビュー)が聞きたかった。</li> </ul>

**■対面式訓練と比較してフルオンライン訓練の改善点**

● セ キ ュ リ テ イ 科	改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類を郵送することがあり、メールで完結してほしかった。</li> <li>・ハローワークへ通所する時間がなかったこと。11月に集中していた休校日を月毎に分けてもらおうとよいと思った。</li> <li>・期間が3か月では短すぎる。特にこういった専門分野の習得にはせめて6か月間ほしかった。</li> <li>・実技の質問で解決するまで時間がかかりすぎる。</li> </ul>
● Web ア プ リ 科	改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者20人で先生が1人のため、わからないことを聞こうと思っても、先に別の受講者が質問していたりすると、その後、時間がなくて聞けなかった。受講者どうしでわからないことを聞いたりできる時間があったのもよかった。</li> <li>・今回が初の訓練だったが、講師の先生が1人ということもあり、質問等があっても放課後等でも人数が集まり、私としては聞けないまま終わることが多くなった。</li> <li>・受講者との交流機会があまりないのでグループワークがもう少しあると学習状況の進捗がわかりやすいと思う。</li> </ul>

● IT 人 材 科	改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインに慣れてないせいもあるが、画面共有などうっかりしたときに個人情報(メールアドレス)を見せてしまったことがあった。操作に慣れる必要があると思う。</li> </ul>
● IT 導 入 科	改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が見て回るということができないので、軽微な間違いなどをその場で修正することが難しい。休み時間や放課後に気軽に質問が出来ない。</li> </ul>
● Web デ ザ イ ナ ー 科	改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムにもよるが、グループワークがもっとあっても良かったと思う。</li> <li>・前回の職業訓練は後ろにもう1人補助の先生がいたので、ちょっとしたことが気軽に聞けたが、オンラインは全員に注目されるのが皆さんの手を止めてしまうのが申し訳なかったです。</li> </ul>

## 第2節 訓練実施機関へのヒアリング調査結果

訓練終了時に訓練実施機関に対して、次の各項目に対し訓練をどのように実施したか、また、課題に対する注意点や対応策等をヒアリング調査した。なお、次の各項目に対しては、全ての訓練実施機関に聞いており、内容的に類似しているものは、まとめて記述している。また、各項目の記述においては、全ての訓練実施機関に当てはならないものもある。

### 2-1 受講者の出欠確認

- ・同時双方向による確認(カメラは ON で、点呼時にはマイクを ON にして返事をしてもらう。あるいは、カメラは ON で、点呼時に返事の代わりにチャットで名前を入れてもらう)。

### 2-2 訓練中のカメラやマイクの ON-OFF 状態

- ・訓練中カメラは常時 ON で、マイクは常時 OFF。受講者が質問等必要な時にマイクを ON とした。

### 2-3 受講者のモチベーション維持のための工夫

- ・質問をチャットから口頭形式にして質問を共有できる状態にした。他者の問題点・課題点を共有でき、一体となった訓練ができた。
- ・受講者同士で交流できる場を設けた(グループワークや、チャットツールを活用した)。
- ・貸出したパソコンをリモート操作して支援した。

### 2-4 受講者の集中力を切らさせない工夫

- ・グループワークを実施した。
- ・教材の説明後にペアワークやグループワークなどで発言の時間を設けた。
- ・訓練中に質問(声掛け)した。
- ・教材の課題演習で細かな質問に対応した。

### 2-5 対面式訓練と比較してフルオンライン訓練でできたこと、できなかったこと

- ・特段差異はなかった。
- ・通所時による時間のロスがなくなった。
- ・オンラインなので講師が受けた質問の内容をリアルタイムにフィードバックできることや画面を共有することが全員で考える機会になった。
- ・対面式訓練(座席が隣同士)のように受講者間のコミュニケーションがもう少し取れたらよかった。
- ・対面式訓練のように講師から受講者の手元等を見ることができないので、発言の少な

い人のサポートは難しかった。

#### 2-6 クラスのコミュニティの場の設置

- ・チャットを開放しコミュニケーションを取ることを可能にした。
- ・昼休みもオンラインはそのまま継続しておいた。
- ・別の部屋(ブレイクアウトルーム)を設け休憩時間等時間を設けず自由に話せる場を設置した。
- ・放課後受講者同士による勉強会や座談会等を設置した。

#### 2-7 対面式訓練と比較して受講者の習得度に差を感じたか

- ・対面式訓練もフルオンライン訓練も受講者個人による習得度の差はあるので、どちらも差は感じない。

#### 2-8 フルオンライン訓練で訓練効果を確保するため対面式訓練に無い工夫

- ・e-ラーニングシステム上に確認テストを配置し習得状況を把握した。
- ・他の受講者の質問を全員で共有した。
- ・受講者全員に1日の終わりに日誌をつけてもらい、質問等があれば回答していった。

#### 2-9 フルオンライン訓練で就職実績を確保するために対面式訓練に無い工夫

- ・オンラインによる企業説明会を実施した。
- ・オンラインによる就職講話を実施した。

#### 2-10 フルオンラインでの就職支援はどのようにしたか

- ・基本的には、①履歴書や応募書類の添削、②ジョブ・カードの作成、③面接対策、④キャリアコンサルティングによる就職相談等、対面式訓練と同様の内容を実施している。
- ・訓練期間中4回のキャリアコンサルティングを実施し、個人相談を一人当たり15分～20分で行った。
- ・オンラインで企業説明会を実施し、自身の市場価値を確認する場を提供した。
- ・訓練の中盤の就職支援でオンラインによる就職講話を実施した。
- ・訓練の終盤で訓練休以外に平日に訓練休を追加して、就職相談や企業訪問等活動しやすくした。
- ・訓練が終了しても、他のコースの就職支援の企業説明会に誘っている。
- ・訓練が終了しても、声掛けだけでなく、就職相談の予約票を用意し、いつでも相談ができるようにしている。

#### 2-11 他の都道府県への就職希望者への対応

- ・事前に受講者が希望する就職先を調べさせ、キャリアコンサルティング時にキャリアコンサルタントと共有し、それに基づく指導(応募書類添削、条件の整理等)を実施した。
- ・全国に営業所のある大手IT企業の担当者からの就職講話(地域の求人情報の紹介含む)や就職支援をベースに就職活動できるよう支援を実施した。
- ・受講者へは最寄りのハローワークや登録しているエージェント等から情報収集して求人企業を探し、応募を進めて行くよう支援した。
- ・専門職の地域動向を確認し、専門職の求人が無い、あるいは少なければ訓練内容の他の専門性での能力等を活かした職種を案内した。

## 2-12 フルオンライン訓練を成功させるためのポイント

- ・受講者をご自身のパソコン等のインターネット接続環境を理解していること。今回は、訓練コースガイドに「受講者が準備する機器等」を記載しており、その条件を受講者に守ってもらうこと。
- ・委託訓練としてきめ細かな対応と適切な事務手続きを行うこと。
- ・受講者同士が信頼関係を構築し、仲間意識を持つこと。受講者同士の交流が活発であること。(全員が見ていても質問が出るようになる。)

## 2-13 通信障害への対応

- ・今回はどの訓練実施機関も長時間の通信障害はなかった。
- ・受講者側で通信できなくなった時は、受講者のスマートフォンに連絡を入れ、オンライン用ツールを最初から操作することで、ほとんどがオンライン訓練に再び参加できた。
- ・受講者のパソコンでオンライン訓練が受講できなくなった時は、一時的にスマートフォンにダウンロードしたオンライン用ツールを起動して参加した。
- ・通信障害はオンライン用ツール側のシステム的なトラブルが無ければ概ね大きな障害にならない。
- ・バックアップ回線を用意し、負荷に応じて切り替えて使用した機関もあった。

## 2-14 補講の実施方法

- ・補講は、補講を必要とする受講者と直接日時を調整して実施した。
- ・補講は、放課後や訓練休の土曜日に実施した。

## 2-15 フルオンライン訓練で良かった点と改善すべき点

### 【良かった点】

- ・対面式訓練では使用していないクラウド環境を訓練に取り入れた。
- ・習得度・進捗を確認しやすいため、訓練の管理が容易であった。
- ・教室のスペースに捕らわれることのない訓練を運用できた。

- ・設備面の投資が低く抑えることができた。
- ・全国から訓練受講の目的が明確な人が集められるため、訓練中のモチベーションが高く、受講意識も高かった。
- ・全国から集まっているため、多様な意見交換ができ学びが深まった。

### 【改善点】

- ・全国規模の割に応募者が少なかったため周知に工夫が必要である。
- ・育児や自己都合で欠席等目立つ人もいたため、訓練に集中できる環境にあるか事前に確認する必要がある。
- ・ある程度知識のある受講者もいることから選考基準の見直しが必要である。
- ・受講者同士の情報共有の場としてブレイクアウトルームの活用を進めたい。
- ・グループワークによる訓練スタイルが良いと感じた。
- ・受講者側でパソコン1台に2台のモニターを用意したほうが良い(画面に複数のアプリケーションを操作するため)。
- ・受講者側にオンライン用ツール(特に画面共有)の操作方を事前に説明したほうが良い(入所前、入所式のオリエンテーション後、訓練開始の前等)。
- ・受講者との共有データの管理方法の説明を十分に行う必要がある。
- ・プログラミングの講義は工夫が必要である。
- ・【意見】オンライン用ツールで訓練を録画しており、これは24時間視聴が可能なことから、録画を補講に活用できれば受講者の補講に際し時間が有効に使える。

### 2-16 想定される課題の変化(訓練開始時との比較)

フルオンライン訓練と対面式訓練を比較して、フルオンライン訓練で想定させる課題と思われる項目(次の①～⑩)を訓練開始時と訓練終了時で聞いたもの(複数選択)。

- ①受講者の習得度、②訓練指導の方法、③訓練用の教材、④就職支援の方法、⑤修了者の就職率、⑥通信障害時の対処方法、⑦事務手続き、⑧受講者とのコミュニケーション、⑨訓練の委託費

【訓練開始時】から【訓練終了時】でどう変化したか。

- ・全体では訓練開始時の22項目が訓練終了後には14項目に減った。
- ・①受講者の習得度に対する課題は、4件から0件に減少した。

全ての訓練実施機関は確認テストを行っており、対面式訓練と同じような訓練効果を感じている。

- ・②訓練指導の方法に対する課題は、3件から2件に減少した。

講師の指導に対し受講者から若干の意見が出ている。講師は受講者側で誤解を感じさせないように話すことや、理解しづらい専門性の講義は図・表・アニメーションやグループワーク等の工夫が必要である。

- ・③訓練用の教材に対する課題は、1件から2件に増加した。

当初配布した教材に途中で追加した資料も出てきた。

- ・④就職支援の方法に対する課題は、2件のまま変動なし。

対面式訓練と同じように就職支援とキャリアコンサルティングを実施しているが、訓練終了時点ではまだ就職が決まっていないことから選択している。

- ・⑤修了者の就職率に対する課題は、3件が1件に減少した。

訓練終了時点では、就職者は全体で数名であるが、訓練実施機関はこれから3か月間で就職できると期待している。

- ・⑥通信障害時の対処方法に対する課題は、2件のまま変動なし。

受講者のパソコンのオンライン用ツールで若干のトラブルがあり、解決に時間を要した。

- ・⑦事務手続きに対する課題は、2件のまま変動なし。

受講者とのやり取りで電子データでの処理を望んでいる。

・⑧受講者とのコミュニケーションに対する課題は、3件から1件に減少。受講者のアンケート結果では全ての訓練実施機関で概ねコミュニケーションが取れていた。

- ・⑨訓練の委託費に対する課題は、1件のまま変動なし。

最近の物価高や都市と地方での講師謝金の違い等で委託費の改訂を望んでいる。なお、どの訓練実施機関も対面式訓練と変わらずフルオンライン訓練訓練ができたと考えている。

## 2-17 その他

- ・退所処分までの取扱いを簡素化する。3か月では時間的に厳しい。

- ・受講届等の書類の柔軟な対応(電子データ等の扱い)。

・受講者レベルが違い過ぎるとフルオンライン訓練では運営が大変。ある程度受講者レベルを合わせられるとよい。

・ハローワークとの連絡はほとんどないが、当初は雇用保険関係や職業訓練受講給付金の書類等について問い合わせている。

・訓練期間中に北海道から東京へ引っ越した受講者がいたが、ハローワークを東京に変更して無事修了した。フルオンライン訓練だから可能であった。

- ・選考は訓練実施機関でやらせてほしい。

- ・口頭試問は最低限確認できるので良い。

- ・訓練コース名は、わかりやすいものが良い。